

【別紙様式 I】 令和7年度 学校評価報告書

学校名 厚木市立依知中 学校

厚木市教育委員会の基本目標	1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】
	2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】
	3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】

校長名 安藤 史

学校教育目標	学校経営の方針
未来の創り手となる「学ぶ意欲」「豊かな心」「健やかな体」を身につけた生徒の育成	生徒が主体的に活動し、協力し合って学校を創るという意識を持ち、高め合える学校を目指す。 (1)全職員による協働体制に基づき、チーム一体となった学校づくりを推進する。 (2)生徒一人一人が自己の役割を自覚し、他者の多様性を尊重し、誰もが笑顔で楽しめる仲間づくり、環境づくりを心がける。 (3)子ども、学校、家庭、地域が互いに相互受発信に努め、連携協力しあい、信頼関係を構築し、四者一体となった学校づくりを推進する。 (4)定期的な学校評価による組織的・継続的な教育活動の改善を推進し、常に向上し、発展できる学校を目指す。 (5)生徒が社会の創り手となる将来の姿を思い描き、「知・徳・体」とともに「社会性」を身につけることを目指し、発達段階に応じた支援、指導を行う。

今年度の重点目標

- (1)学ぶ意欲の向上
- (2)コミュニケーション能力の育成
- (3)自律する力・自立しようとする意欲の向上

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
学校は様々な活動を通して、学校目標の達成に努めている。	1・2・3	学期ごとの学校評価の実施(生徒・職員)	各学期に学校評価についてのアンケートをとることで学校教育目標を意識させることはできた。しかし、継続的な活動につながらなかった。	・学校教育目標を掲示し、常に意識できるようにする。 ・行事等の計画立案にあたり、学校教育目標との関連を明確にし、ねらいの共有化をさらに進める。
生徒が学習に意欲的に取り組んでいる。	1	見合う授業の実践により、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり	学校評価で授業がわかりやすいと回答した生徒の割合が昨年度よりやや上がった。校内研究で授業改善に取り組んだことも効果があったと思われる。	・教科部会を活用し、お互いの授業を参観してさらに授業改善に努める。
単元の学習を見通して目標に向けて主体的に学習に取り組ませる。	1	単元計画を作成し、生徒と目標や授業の見通しの共有	単元計画を生徒に提示したことで単元テストに向け計画的に学習したり、テストのやり直しに向けて学習に取り組んだりする生徒が増えた。しかし、学習の定着に結びついていない面が見られた。	・単元テストを計画的に実施する。 ・生徒が自分の学習を生かすことができた実感できる仕掛けや工夫をする。
生徒に学校の活動の中で頑張れる場所や役割があると感じさせる。	3	役割の明確化と振り返りの実施	実際に頑張っている様子や役割を果たしている様子を認めることが自己肯定感につながっている。マニュアルにそって生徒が活動する場面も多かった。	・学年で段階をおって生徒が活動を進められるようにねらいと計画をたてる。 ・マニュアルを細かく提示するのではなく、ねらいの達成を目標にさせる。
自分の命も他人の命も守るための判断ができる生徒を育てる。	2	・予告なしの避難訓練 ・災害時の基本対応の周知	今年度初めて生徒とともに「不審者対応」の訓練を行った。職員体制や連絡方法など見直すべき事項が複数見つかった。	・実際の災害時を想定した避難計画の立案 ・職員の不審者対応研修の実施
生徒の観察ポイントを知り、生徒の「困った状況」に気づく。	2・3	・学年会でのスクリーニングシートの活用 ・担任外学活週間の実施	学年会でのスクリーニングシートは意識付けにはなった。また、担任外の学活を参観することで気づきもあったが、お互いに意見交換するところまでいかなかった。	・スクリーニングシートで挙げた生徒への声かけを積極的に行う。 ・担任外学活で参観した後に情報交換を行う時間をとる。
自分の生活を振り返り、改善しようとする意識を持たせる。	1	・眠育アンケートの実施	学期に1度2週間の自分の睡眠や生活のリズムを記録し、振り返りをさせることで意識を高めることができた。	・職員が睡眠や生活のリズムを整えることの大切さを知り、生徒に周知する。

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

学校運営協議会委員から概ね良い評価をいただくことができた。特にどの授業にも落ち着いて取り組んでいる様子についてお褒めの言葉をいただいた。今後は生徒の長所を伸ばす教育に力を入れてほしいという意見、教室に入りづらいと感じている生徒への支援についていろいろな方法を考えていってほしいという意見をいただいた。

今年度の学校経営のまとめ・次年度への改善の方針

学校教育目標の達成のために今年度は①学習意欲の向上②コミュニケーション能力の育成③自律する力、自律しようとする意欲の向上を重点目標とした。校内研究で「コミュニケーション能力の育成」をテーマに授業での話し合い活動を充実させることを目指した。その中で相手意識・目的意識の育成を意識した授業づくりをすることで重点目標の①と③の達成も目指して取り組み、学校としての話し合い活動のルールを設定することができた。ただ、それ以外は学校としての共通の取組としては弱い面があった。次年度は学校教育目標を全職員・生徒で常に意識して教育活動を進めることとその目標に向かって学校全体で取り組めるように、ねらいの明確化に今まで以上に力を入れていきたい。